



何気ない一言、行動に目を向けてみよう。 いろんな仲間の良さが光っています！

生徒のみなさんへ

- やっと5月25日から全学年生徒の登校が始まったかと思えば、6月5日から分散登校になりました。北九州市は今、新たな新型コロナウイルスの感染者が出ています。残念ながら、市内の小中学校等で児童生徒が感染しています。その状況を受け、学級は午前と午後に分けられ、授業は2時間、給食はなく、部活動ありません。これは3密をつくらないための措置です。

そこで、みなさんにお願いがあります。もうしばらくの間は不要不急の外出はひかえてください。人込みのある場所へは出かけず、ステイホームを継続しましょう。

- つまり、◆ 1つ、換気の悪い「密閉」空間をつくらず、
- ◆ 2つ、大勢が集まる「密集」場所へは行かない、
- ◆ 3つ、近くで会話する「密接」の場面をつくらない、

といった、3密になるおそれがある行動をしないように努力してください。心配なのは、最近、学校では、3つ目の「密接」が守られていない場面があるということです。久しぶりに友だちに会った嬉しさから、ついつい手をつないだり、抱き合ったりしている人をよく目にしました。気持ちちはわかります。が、そこは、今は我慢です。もちろん、家でも学校でも、手洗い、うがい、部屋の換気を忘れずしてください。今は、この状況を皆で乗り越えるしかありません。一緒に力を合わせて、がんばりましょう。

- つぎに、ここ2週間の皆さんの様子についてふれます。長い休校が終わり、学校が始まりました。多分、今までの生活リズムと違う2週間になったことから、いろいろな面でとても疲れたのではないのでしょうか？ 朝の健康チェックなど、登校から慣れない動きがたくさんあって、大変だったと思います。しかし、みなさんの努力で、日を重ねるにしたがって随分スムーズな動きができるようになり、朝の混乱がなくなりました。素晴らしいことだと思います。

この2週間、校舎を回り、皆さんの何気ない一言、行動を目にしたとき、気付いたことがあります。少しだけ紹介します。

- 挨拶を笑顔で返している。(マスクをして顔の半分以上が隠れていても目を見ればわかります。)

さらに、自分の方から立ち止まってする人もいます。(今は、大きな声はひかえますが・・・)

コミュニケーションが限られている今だからこそ、挨拶を大切にしている人の優しさ・思いやりを感じることができます。生徒の皆さんとこのような挨拶を交わせた時、気持ちが繋がったような気がして、今日も頑張ろうと勇気が湧いてきます。この挨拶は、2・3年生に多い傾向が見られます。きっと、熊西中の素晴らしい伝統なのでしょう。



○ 集中下足箱の所で、後ろに並んでいる人のために、とりあえず急いでその場を離れ、広い場所で靴をしっかりと履いている。

実は、「3密」が最も起きやすい場所の一つが集中下足箱です。毎日、多くの先生方が密集を作らないよう皆さんを誘導しているのを知っていると思います。これも、周りの仲間を気遣う素晴らしい動きですね。中には急ぎすぎてこけそうになる人も。怪我に気を付けて下さいね。



まずは広い所へ出て靴を履く思いやり

○ 登下校中や階段や廊下、教室などで、「これ密やない？」と、距離を取ろうと友だちに呼びかけている。

前にも書きましたが、友だちとは、ついつい「密接」になってしまいがちです。「どうせ無理」とあきらめるのではなく、この、「距離を取る感覚」をいつも持つ、大切にすることが、今は求められます。少し寂しさを感じる行動ですが、今は大事なことです。



「これぐらいかな？」下校時に間隔を取ろうとしている皆さん

○ 限られた環境でも授業を頑張っている。

久しぶりに50分間集中することで、とても疲れたと思います。しかし、私が見せてもらった授業では、熱心に取り組んでいる皆さんの姿がありました。ただ、話し合いなどペアや班での交流活動ができないのが残念です。先生たちも授業を作り直し、工夫して行っています。



授業中は真剣そのもの。限られた環境、時間の中で、集中し精一杯取り組む3年生の皆さん。(分散登校前の授業)

※ いかがでしたか？ほんの一部でしたが、このような状況の中、きらりと光る皆さんの優しさや思いやり、頑張りを紹介しました。2週間、元気に登校した皆さんの頑張り感謝します。君たちの笑顔に先生たちも元気をもらうことができました。徐々に慣れていきながら、今週も先生たちと一緒に頑張ってくれることを期待しています。

1年生の皆さん、中学校へようこそ



5月20日の中学校初日は、分散登校なので全員揃ってはいませんでした。その中、熱い想いを語る1年生学級担任の先生方。